

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131601		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	重度障害者（児）福祉タクシー利用券支給事業			担当部局・課	健康福祉部 地域福祉課			
事業内容	身体障害者手帳の１・２級、療育手帳Ａ判定、障害者手帳１級の交付を受けている人の在宅福祉サービスや生きがい活動支援事業を提供する場所、医療機関等との間の送迎の助成を行い、生活範囲の拡大と社会参加の促進を図る。申請主義。			事業開始(予定)年度				
				昭和58年度				
				事業終了(予定)年度				
				—				
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	障害者の移送サービスへの支援					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	重度心身障害者（児）の生活範囲の拡大と社会参加の促進を図る。			予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款） 民生費 （項） 障害福祉費 （目） 障害福祉総務費 （事項） 援護措置等給付関係費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	21,515千円	財源内訳		事業費	22,293千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市 債	—			市 債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	21,515千円			一般財源(市税等)	22,293千円
	投入人員	0.05人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.05人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	428千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	428千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	21,943千円		経費合計	22,721千円				
活動指標	指標名(単位)	利用件数（件）			計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	—				計画値	34,770	37,731
						実績値	36,420	